

第36回 市民まちづくり会議

大規模土地取引行為の届け出地の
概要について
(諮問第7号関係)

大規模土地取引行為

届 出 地 日野市旭が丘5丁目16番1 ほか9筆
面積 7,585.00m²

届 出 者 日野市旭が丘5丁目15番48
安藤 節

譲 受 人 東京都八王子市高倉町50番地16
新日本物流株式会社
代表取締役 松山 正一

届 出 日 令和2年2月27日

主な土地利用目的 倉庫1棟、事務所2棟、
車両置き場の営業所

現状の土地利用形態

従前の土地利用 ゴルフ練習場（現在解体整地中）

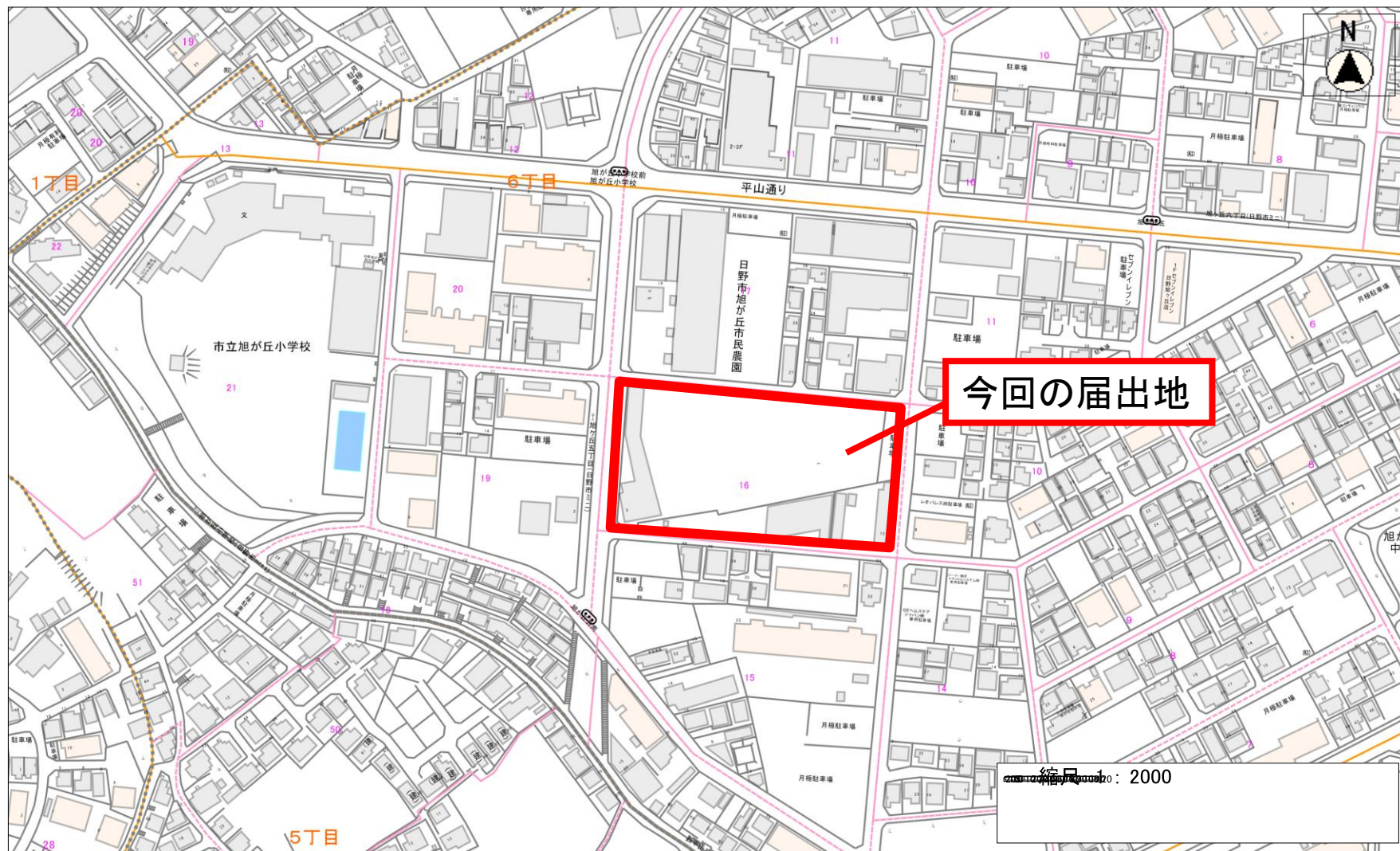
用途地域 工業地域
（建ぺい率60%、容積率200%）

地区計画 設定なし

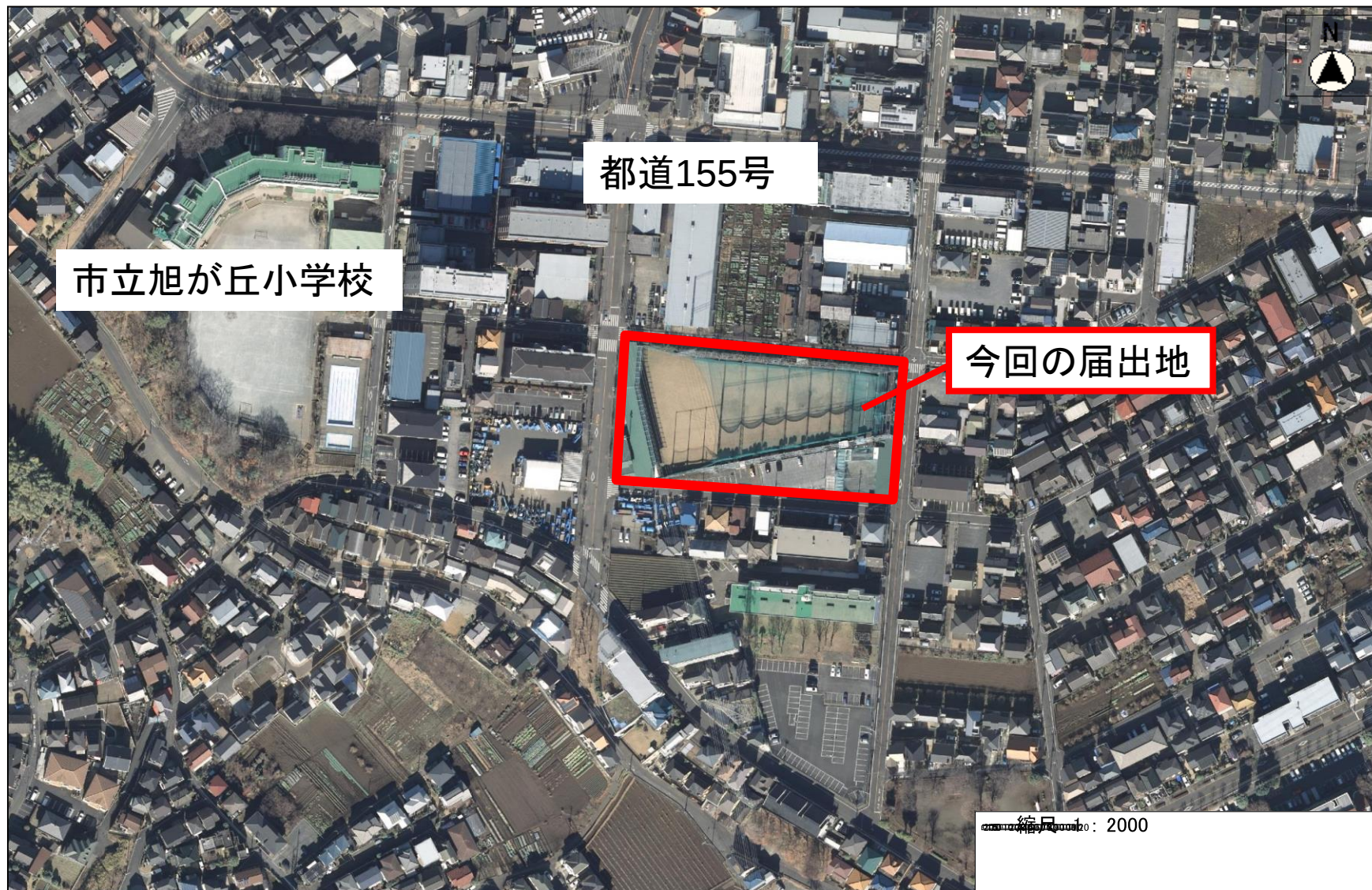
まちづくりマスタープランの位置づけ

- ・日野の産業と雇用を支える産業拠点
- ・企業や工場、大学などが協働し、地域主体の潤いのある街並みと活力のあるまちづくり

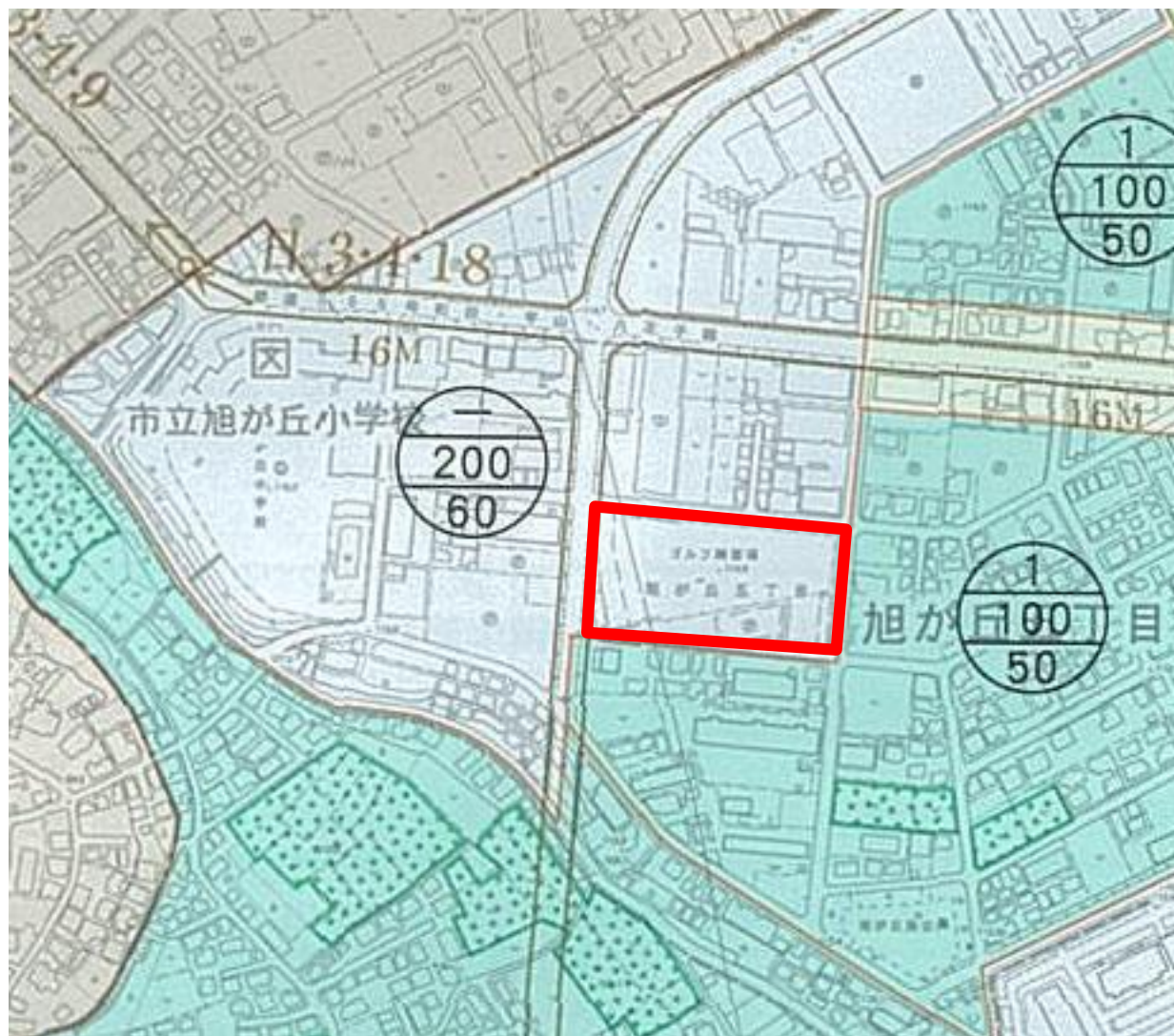
位置図



大規模土地取引行為箇所及び周辺状況



用途地域



用途地域					
用途地域種別	表示	建ぺ率	容積率	高さ地区	防火および準防火地域
第1種低層住居専用地域	1/30	30	50	第1種 建築物の高さの制限10m	指定なし
	1/30	30	60		
	1/30	40	80		
	1/30	50	100		
	1/30	50	150		
第1種中高層住居専用地域	1/40	40	100	第2種	準防火
	1/40	50	100	第1種	
	1/40	50	150	第2種	
	1/40	60	200	第1種	
	1/40	60	200	第2種	
第2種中高層住居専用地域	1/50	50	100	第1種	
	1/50	60	200	第2種	
第1種住居地域	1/50	60	200	第1種	
第2種住居地域	1/50	60	200	第2種	
準住居地域	1/50	60	200	第2種	
準工業地域	1/50	60	200	第2種	
近隣商業地域	1/80	80	200	第2種	
工業地域	1/60	60	200	指定なし	防火
商業地域	1/80	80	300	第3種	
	1/80	80	400	第3種	
	1/80	80	400	指定なし	
	1/80	80	500	指定なし	
	1/80	80	500	指定なし	

まちづくりマスタープラン(土地利用構想の位置付け)

土地利用構想図

住宅系土地利用

- 日野の原風景が残る自然と共存する地域
- 生活基盤を活かした身近な緑と触れ合える住宅地
- 昔ながらのまち並みを大切にしながら住宅の持続性を高める地域
- 生活基盤を活かした多摩丘陵の豊かな緑と触れ合える住宅地
- 多摩丘陵の緑豊かな環境を維持しながら住宅の持続性を高める地域
- 地域の拠点としての役割を担うにぎわいのある住宅団地
- 駅近くの利便性が享受できる共同住宅が集積した住宅地
- 車利用の利便性を実感できる沿道型住宅地
- 農のある地域と調和した沿道環境

商業・業務系土地利用

- 商業・業務等の都市機能と交通機能が集積した都市拠点
- 生活に密着した商業機能を導入する生活拠点
- 車利用者へのサービス施設が充実した沿道商業
- 様々な生活サービスを提供する拠点

工業系土地利用

- 日野の産業と雇用を支える産業拠点
- 住工が共存する活気のある地域

自然的土地利用

- 大規模公園・緑地
- 河川
- 緑と共生した土地利用

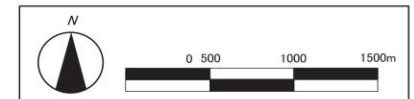
その他の土地利用

- 公共公益施設・学校
- 操車場・中央自動車道・供給処理施設

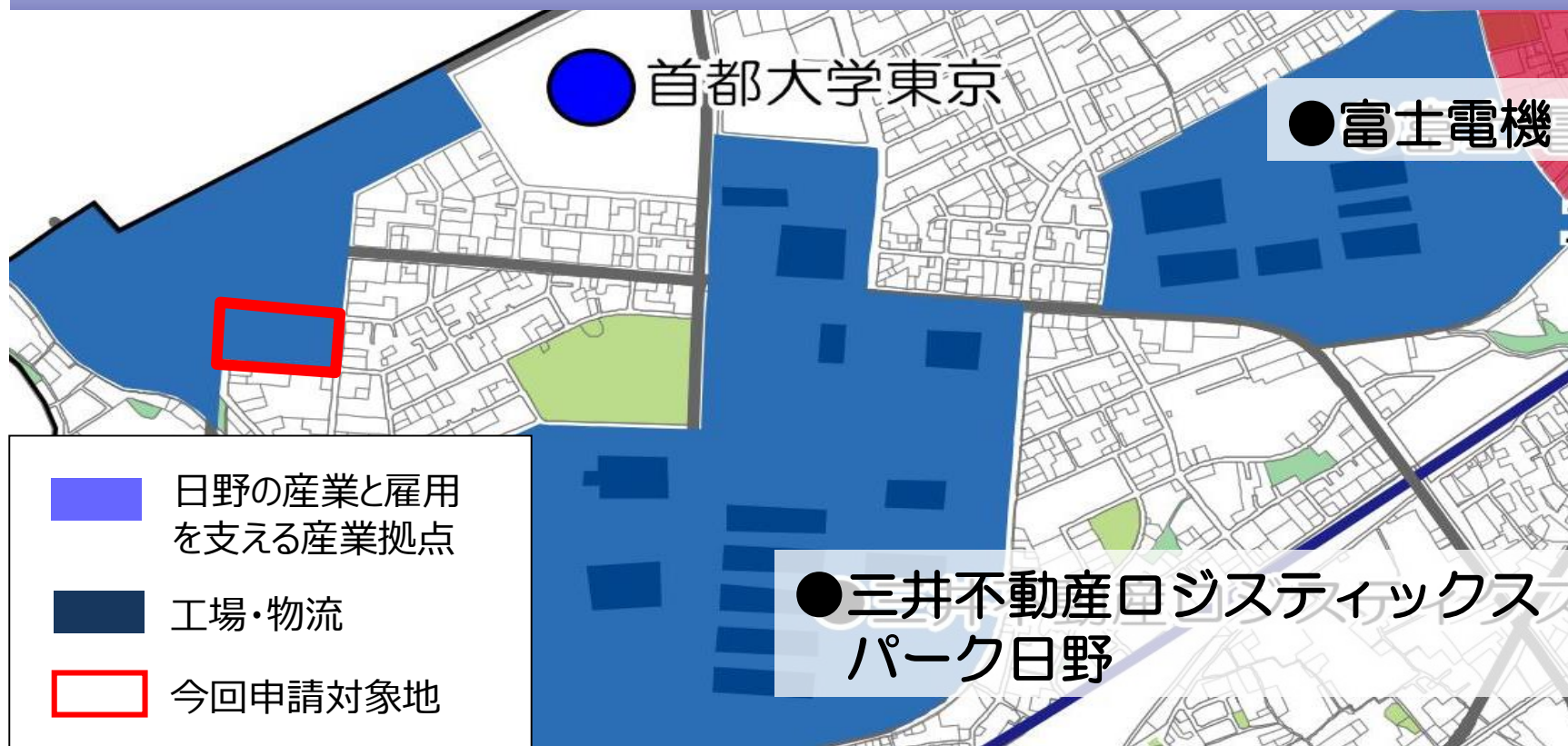


--- 浸水想定区域

※ 水害時に浸水が想定されるため、用途地域・地区計画等を活用し、適切な建物規模（高さや形態）の誘導を検討する必要がある地域



まちづくりマスタープラン(まちづくり基本計画の位置付け)



3-2. 日野のまちづくりとともに歩んできた産業とこれからもともに歩む

- ・工業系の土地利用を定めた地域にあっては、生産・操業環境の場であることを重視した環境整備を進めていきます。
- ・工業地域及び準工業地域及びその周辺部において、工業用途と住宅が既に混在している地域では、生産・操業の場であることを前提としつつ、住工共存のまちづくりに向けて、工場からの騒音・振動等の抑制や緑化の推進等を進め、工場操業に対する住民の理解促進を図っていきます。

まちづくりマスタープラン(地域別まちづくり詳細計画の位置付け)

日野第四中学校地域 まちづくり方針図

公園や工場・幹線道路沿いの街路樹の緑のネットワーク化など、多様な緑のある街並みの創出と憩いの場づくり

企業や工場、大学などが協働し、地域主体の潤いのある街並みと活力のあるまちづくり

都市計画道路日3・4・25号線の整備による交通利便性の改善

鉄道駅の実現が困難な中で、鉄道駅に代わる交通結節機能の充実化

**企業や工場、大学などが協働し、
地域主体の潤いのある街並みと活力
のあるまちづくり**

拡大図

区画整理により緑や農地を保全・活用した農の拠点の形成

交通結節機能の確保や交流の場の創出・公共交通の利便性を高め、安心して住みつけられるまちへ



住宅系土地利用

- 日野の原風景が残る自然と共存する地域
- 生活基盤を活かした身近な緑と触れ合える住宅地
- 昔ながらのまち並みを大切にしながら住宅の持続性を高める地域
- 地域の拠点としての役割を担うにぎわいのある住宅団地

- 駅近くの利便性が享受できる共同住宅が集積した住宅地
- 車利用の利便性を実感できる沿道型住宅地
- 農のある地域と調和した沿道環境

商業・業務系土地利用

- 商業・業務等の都市機能と交通機能が集積した都市拠点
- 生活に密着した商業機能を導入する生活拠点
- 車利用者へのサービス施設が充実した沿道商業
- 様々な生活サービスを提供する拠点

工業系土地利用

- 日野の産業と雇用を支える産業拠点

自然的土地利用

- 大規模公園・緑地

その他土地利用

- 公共施設・学校
- 操車場

大規模公園・緑地

- 都市・生活拠点の機能充実
- 沿道の施設誘導
- 余裕教室等を地域の活動拠点として利活用
- 土地区画整理事業計画区域
- 新たな公園の整備
- 公園
- 農地
- 用水
- スーパー・コンビニ
- 小学校・中学校
- 幼稚園・保育園
- 病院・診療所
- 福祉サービス施設
- 地域包括支援センター
- 地区センター・交流センター

現 場 写 真

